

# 環境県民フォーラムだよ！

VOL. 46 2021年3月1日 発行



## 脱炭素社会の実現に向けて

災害級の酷暑による熱中症患者の増大、豪雨・台風等の異常気象による甚大な被害の続出等、地球温暖化は、気候危機の時代に移っています。このまま何の温暖化対策をとらなかった場合、世界の平均気温は2100年に産業革命以前と比べて約5℃上昇するという報告があり、地球は危機的な状態になります。(図1)

2015年の国連でのSDGsおよびパリ協定の採択で世界は気候変動対策を積極的に進めています。一方、パリ協定を受け、日本政府は地球温暖化対策計画を策定し、2030年に温室効果ガスの排出を2013年比▲26%、家庭部門のCO<sub>2</sub>排出を▲40%、2050年には温室効果ガスの排出を▲80%の目標を掲げていました。そして、2020年10月、菅首相は「2050年までに温室効果ガスを全体としてゼロにする(カーボンニュートラル)」と宣言されました。(図2)

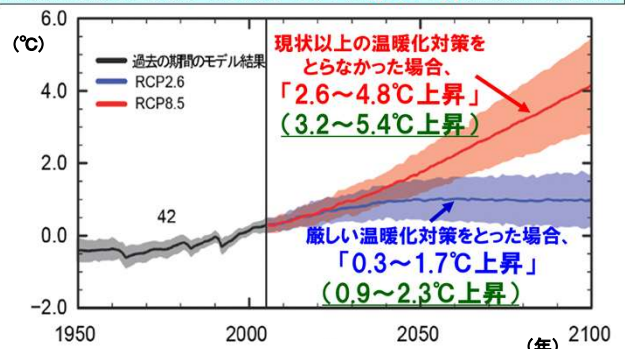
私たちができる気候変動対策には、住まいの断熱や高効率機器への買替等の省エネ、太陽光発電等の創エネの導入、森林保全によるCO<sub>2</sub>の吸収等の温室効果ガスを減らす「緩和策」と、熱中症対策、異常気象対策等の温暖化による悪影響に備える「適応策」の2つの対策があります。(図3)

また、奈良県のエネルギー起源のCO<sub>2</sub>の排出量を見てみると、全国平均と比べて、家庭部門および運輸部門の比率が約1.5倍~2倍と大きいのが奈良県の特徴です。自家用車を含む家庭部門のCO<sub>2</sub>削減には、私たちの日常でのライフスタイルの変容が極めて重要です。

脱炭素社会の実現に向けて私たち市民や環境団体も気候変動対策を更に進化させ、SDGsの13番目の目標(「気候変動に具体的な対策を」)をはじめとする気候変動関連の目標達成に貢献しましょう。

(奈良ストップ温暖化の会 当麻)

温暖化対策をとらなかったら、2100年に約5℃上昇(産業革命前比)



※1989~2005年平均に対する世界の平均地上気温の変化(赤字・青字)  
( )内は産業革命前(18世紀~19世紀)との比較

出展:IPCC第5次評価報告書に基づき作成

【図1】世界の平均気温の将来予測

パリ協定	持続可能な開発目標(SDGs)
世界の平均気温の上昇を、産業革命以前と比べて、 <b>2℃よりも十分低く保つ</b> とともに、 <b>1.5℃に抑える努力</b> を追求することを、世界共通の目標として合意	国連が決めた2030年までにすべての国が目指す優先課題。17のGoals. 169のTargets. 理念「 <b>誰一人取り残さない</b> 」 <b>13<sup>th</sup>「気候変動に具体的な対策を」</b>

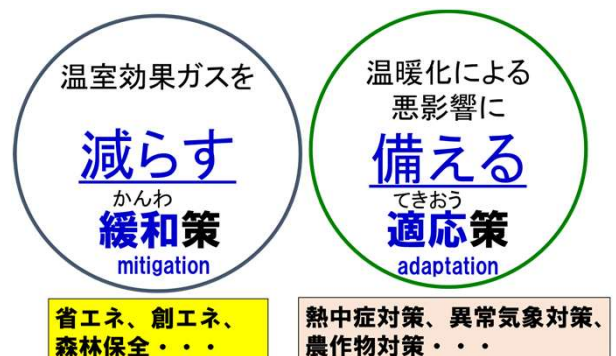
【日本政府の「地球温暖化対策計画」】

- ・温室効果ガスを2030年度に2013年度比**26%削減**
- ・家庭部門のCO<sub>2</sub>を、約**4割削減**
- ・温室効果ガスを2050年に**80%削減**

「2050年に温室効果ガスの排出を**実質ゼロ**に」

菅首相宣言(2020.10.26臨時国会)

【図2】気候変動に関する国内外の目標



2018年 気候変動適応法

出展:環境省資料に基づき作成

【図3】私たちにできる気候変動対策

## エネルギー分科会 ～エネルギー分科会のご紹介～

エネルギー分科会は、家庭の省エネルギーや再生可能エネルギーの導入促進、アイドリング・ストップなど、地球環境にやさしいエコライフの推進を目的として、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できませんでしたが、例年県民の皆さんに環境保全について考えて頂く機会づくりとして次のような活動をしています。

### ○「エコな～らライフ宣言」植樹バスツアーの実施

「エコな～らライフ宣言」は、奈良県環境県民フォーラムが実施するCO<sub>2</sub>排出量削減キャンペーンで、「家庭で取り組める省エネ行動」を宣言し実践していただくものです。宣言された方には植樹バスツアーにご案内し、植樹によるCO<sub>2</sub>削減にも貢献して頂いています。

### ○エコクッキング教室の開催

毎日の生活には、たくさんの資源や水、ガスなどのエネルギーが使われていますが、便利で快適な生活と引きかえに深刻な環境問題が起こっています。県民の皆さんに、「買い物」「調理」「食事」「片付け」それぞれの場面で環境にやさしい工夫をする「エコクッキング」のコツを学んでいただく「エコクッキング教室」を開催しています。2019年度は、奈良友の会の指導のもと、鍋帽子®を使用した省エネ保温調理実習を行いました。

### ○エネルギー見学会

省エネルギー、再生可能エネルギーに関する講演会や見学会を開催しています。2019年度は、エネルギー分科会及び資源活用分科会のメンバーを中心に、日本最大級の風力発電所として60基の風車が設置されている「青山高原ウィンドファーム」の施設見学を実施しました。

(大阪ガス(株) 真鍋)



植樹バスツアーの様子



エコクッキング教室の様子



エネルギー見学会で訪れた青山高原ウィンドファーム

## エコライフ分科会 ～「大和川のきれい化」に向けた活動の振り返り～

2020年度は、1月に中国武漢市を発生源に新型コロナウイルス感染症が世界中に広がり、日本でも感染が拡大し、緊急事態宣言が発出されました。2021年1月には、東京をはじめ11都府県に2回目の緊急事態宣言が発出され、コロナ禍が収束する気配がありません。このような状況下で、分科会の開催や屋外での活動も自粛し、ほとんど活動ができない1年間でした。エコライフ分科会の活動の目的は、奈良県の河川の水質改善を目指した活動、とりわけ、水質ワースト上位の大和川の水質改善の為に活動を続けてきました。過去数年の活動を振り返り、また、2021年度の活動予定についても計画してみたいと思います。

表1: 2017～2019年度の屋外での活動(見学会、環境学習等)

2017.8.1	河川に敷設された礫間接触酸化浄化設備の見学と亀の瀬の地滑り対策現場の視察	大和川と葛下川の合流点(王寺町地先)亀の瀬
2018.6.10	大和高田市合併浄化槽普及促進キャンペーン	奈良コープ大和高田店
2018.11.2	下水処理人口普及率の高い天川村で、村営の浄化槽センター見学と天川村職員との意見交換	天川村役場 天川村浄化センター
2019.7.3	小学5年生対象の環境学習	五條市 野原小学校
2019.10.28	みなべ梅林、梅干し生産工場、梅酢廃液処理施設の見学	みなべ梅林、梅扇園、 太陽コーポレーション

2021年度は、2020年度に計画しコロナで中止となった河川の水質検査(パケットテスト)を行う予定です。

奈良県が2019年度に「大和川重点対策支川部会(大和郡山・斑鳩・安堵エリア)」として岡崎川、三代川の水質改善の協議会を立ち上げています。三代川およびその支川の服部川、イツボ川の計8地点で、COD、界面活性剤、アンモニアの測定を行う予定です。

(奈良環境カウンセラー協会 橋本)



図1: 三代川周辺と測定点

## 資源活用分科会 ～これまでの取組について～

資源活用分科会は、2013年から2019年の7年間の活動としては、環境にやさしいお買い物キャンペーンを毎年県内各地の商業施設にて実施しました。見学会では、県内外23か所の施設の見学を行っています。また、毎年奈良県の廃棄物の状況や自治体の取り組みを学習会で学んできました。

環境にやさしいお買い物キャンペーンでは、レジ袋削減の啓発活動が続けることにより、マイバッグを持参される方が増えている事が実感できています。2019年の活動時のアンケートでは、約84%の方がマイバッグを持参されていました。2020年7月1日からレジ袋有料化の義務付けにより、持参率がさらに増えて9割以上となり、レジ袋の削減につながっていると思われます。

見学会では、大阪湾でのフェニックス計画による近畿のごみ最終処分場や、私たちの地域のごみが洲本市の成ヶ島に流れている現状を知ることができました。また、プラスチック・食品・紙・家電製品などのリサイクルに取り組みされている現場を体感したことを通じて、各地域や団体、企業の皆さんにごみの削減・リサイクルの現場の状況を伝え、取り組みの大切さを伝えていきたいと考えています。

2020年度は新型コロナウイルス感染予防のため、分科会としての活動ができていませんが、今後の活動を考える良い機会として次年度につなげていきます。(イオンリテール(株)イオンスタイル奈良 桐山)



2019年環境にやさしいお買い物キャンペーン



2016年施設見学:関西リサイクルシステムズ(株)家電リサイクルの現場、フロンガスの回収



2018年施設見学:山陽製紙(株)段ボールのリサイクル



2019年マイバッグアンケートの結果

## 自然環境分科会 ～自然体験教室を開催～

<春の七草を摘んで七草粥を作って食べよう!>

1月17日(日)に生駒市高山町の同志社大学経済学部岸ゼミ里山きゃんぱすにて、毎年恒例となっている『春の七草を摘んで七草粥を作って食べよう!』を開催し、47人が参加しました。例年であれば、生駒市内の小学校・付属小学校など広く案内していましたが、昨年からのコロナ禍が収まる気配がなく、感染拡大を予防するために、今回の観察会は、里山きゃんぱすに定期的に来て遊んだり畑仕事をしたりしているご家庭と、里山きゃんぱす近隣のAファームで活動されている方々に声をかけて行いました。

冬の七草は、どんな姿をしているのか?なぜそんな姿をしているのか?どんなところに生えているのか?どんな香りがするのか?そんなことを観察しながら七草摘みをしました。食器はもちろん竹。食器が作れた人から七草粥をいただきました。

エコノミクス・ワークショップ・プライマリ受講生の中に中国からの留学生がいて、聖護院大根を見て「中国にはこんなに丸い大根はない!」と驚いていました。昨年の韓国で食べられている植物のことや今年の中国の大根についてなど、いろいろな国や地域からいらした方からたくさんの文化や違いを学ぶ良い機会となりました。

(NACS-J自然観察指導員奈良連絡会 有山)

新たなメンバーが加わりました!

「奈良追分コミュニティ」と「山の辺の道ファンクラブ」が新たに自然環境分科会のメンバーとなりました。パワーアップした分科会で、これからも広く県民の皆さんと自然に親しむ機会を共有していきたいと思えます。2団体の活動紹介を次のページに掲載しています。



丸い大根に留学生もびっくり



竹でつくった食器で食べる七草がゆ

# 「やまと菜の花ねっと」

## ～菜の花だより・橘だより～ 新メンバー活動紹介

### 奈良追分コミュニティ

追分梅林組合、若年認知症サポートセンター「きずなや」、近畿大学学生ベンチャー企業「O-LIFE」、G&L共生研究所などで構成されている奈良追分コミュニティは、農業と福祉の連携を基礎に、認知症者、障がい者、高齢者などがやりがいや生きがいを感じ、働く場の実現を図ることを目的として活動しています。活動拠点である追分梅林は、大和の古道「暗越奈良街道」沿いに位置し、10年ほど前に梅が枯れてしまう被害にあった梅林の復興を目指すとともに、大和橘や夏みかん、ハーブや野菜の栽培を通じて追分のさらなる発展に向けて進んでいます。また、菜の花やヒマワリ、大和橘の栽培により年間を通して花の鑑賞ができる場所として、また、県立矢田自然公園の隣に位置していることもあり、人々の憩いの場として、奈良市西部の活性化に寄与することを目的としています。奈良盆地を一望できるこの地で、地域住民の協力を得ながら、奈良及び追分地域の発展に向けて活動しています。



フィールドを彩る四季折々の植物  
(左上から時計回りに 梅、菜の花、橘、ひまわり)

### 山の辺の道ファンクラブ

日本「最古の道」として知られる天理市の景行天皇陵沿道「山の辺の道」を拠点に、山の辺の道をこよなく愛するクラブメンバーで、休耕地に菜の花や花菖蒲、綿の花を植え付け、四季折々の景観を「山の辺の道」を歩き交う人々に提供しています。

龍王山のすそ野に広がる奈良盆地東部に古代ロマンを秘めた山の辺の道沿道を行き交う人と、あいさつや会話をしていると日本全国から山の辺の道と史跡を散策に来られていて、近年は外国からの観光客も見かけます。あいさつすると日本語で挨拶が返ってきて、時には肩を組んで一緒に写真をとられ喜んで写真を撮り合う光景も増えました。また、我々の活動に「ありがとう」や「頑張ってるね！」との言葉をちょうだいしています。

景行天皇の皇子であると云われる日本武尊が、傷付いた体で他の地から「倭は国のまほろば たたなづく青垣 山隠れる 倭しうるはし」と望郷の詩を詠んだと云われる大和の美しい景観を長く後世に残す思いをこめて、環境保全活動に励んでいます。



菜の花の植え付け作業



外国人観光客と談笑

### 橘プロジェクト (活動団体：なら橘プロジェクト推進協議会)

10月11日(日)、近鉄大和郡山駅前などで開催された地域活性化イベント「こおりやまマルシェ」に出店しました。検温チェック、各ブースが密にならない配置などコロナ対策を行っての開催でしたが、四季橘の実物のほか、橘の木の下に巣箱を設置して収穫したハチミツや、橘の皮を他の薬草とブレンドした「和漢めぐり茶」など橘を使って開発した商品の数々をゆったりとした雰囲気の中で、来場者にじっくりとご覧いただき、説明する機会となりました。



こおりやまマルシェに出展

## 桜井フィールド（活動団体：さくらい菜の花プロジェクト）

2020年度の菜種の収穫量は大幅に減少し、全体で500kg程となりました。菜の花まつり他、各種のイベントは中止となってしまいましたが、桜井市立保育所での菜種油搾りの体験学習は例年通り実施できました。残念ながら寺社への奉納は長谷寺のみとなってしまったのですが、その際、子どもたちの前で観音様に供えられているお灯明を奉納した油で灯して下さり、一同感激!! コロナで大変な一年でしたが、2021年度の菜の花も順調に育っています。



奉納した油で灯る灯明



長谷寺に菜種油を奉納

## 奈良フィールド（活動団体：大和の国・菜の花エコプロジェクト 事務局NPO法人宙塾）

「ESD・世界遺産学習」を進める『大和の国・菜の花エコプロジェクト』では、昨年新型コロナウイルスの影響で、4月以降の行事が中止されましたが、鼓阪小、鼓阪北小、東市小では6月の脱穀作業以後は、コロナ対策をしながら予定通り種まき、移植、除草などの作業を授業として行うことができました。六条幼稚園、富雄北幼稚園は2学期以降に搾油作業を延期しましたが、その他は予定通り進んでおります。上記の小学校は東大寺・春日大社など市内の世界遺産の寺社に菜種油を奉納しました。また、11月8日(日)には六条幼稚園が薬師寺に菜種油と菜の花の苗を奉納し「世界の平和と疫病の鎮静」を願いました。

また、北永井フィールドでは11月1日(日)に「菜の花移植&芋ほり」を行い、49名が参加しました。



富雄北幼稚園で搾油体験



北永井フィールドで菜の花の移植&芋ほり

## 葛城フィールド（活動団体：エコ葛城市民ネットワーク）

2020年度は、例年実施している菜の花まつり（4月）とキャンドルナイト（8月）が新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となりました。菜の花プロジェクトをテーマとした環境教育「出前講座」を市内小学校において実施しました。今年度は、新型コロナウイルスの影響で小学校が休校となったこともあり、実施時期や内容が例年とは異なりましたが、市役所、NPO、小学校が連携して実施することができました。

7月から9月には、NPOが刈り取りした菜の花の「種落とし・搾油」を児童たちが体験しました。初めて菜の花の種を見た児童も多く、また搾油の際に香ってくる菜種油の香ばしい匂いに喜んでいました。

11月には、来年度に種落とし・搾油を体験する学年の児童たちが、菜の花の「植え付け」をしました。NPOが育てた苗を、丁寧に時間をかけて植えてくれました。

1月から3月にかけて、植え付け後の「追肥・除草」、そして廃食用油キャンドルづくりなどを実施する予定です。



足で踏んで種を採る



昔ながらの機械に興味津々



# 令和3年度総会・交流会のお知らせ



日時：令和3年4月16日（金）午後

場所：奈良県文化会館

※詳細は追って連絡いたします。

募集中！！



## エコな～らライフ宣言

- ・CO<sub>2</sub>ダイエットに取り組んでいただける方からの宣言を募集中です！
- ・是非宣言し、植樹ツアーに参加しましょう！

宣言方法は以下の二通りです

1. チラシに記入してFAXで送信（0742-22-1668）
2. 環境情報サイトエコならの宣言webサイトから宣言（<http://www.eco.pref.nara.jp/sengen/>）

右記QRコードからもアクセス可能です！



### 賛助会員募集

奈良県環境県民フォーラムでは賛助会員として活動をご支援いただける企業、団体等を募集しています。当フォーラムの活動をご理解いただき、賛助会員としてご支援下さいますよう、お願い申し上げます。

#### 特典

1. 広報誌「フォーラムだよ！り」等刊行物をお届けします。
2. ホームページに随時氏名（ご希望の方）を掲載いたします。
3. 主催事業(省エネクッキングなど)に優先的にご参加いただけます。



編集・発行：奈良県環境県民フォーラム

事務局：〒630-8501 奈良市登大路町30番地 奈良県環境政策課内

TEL：0742-27-8663 FAX：0742-22-1668